

令和元年度

社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会事業報告

瀬戸市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、平成29年度に「地域福祉活動計画」を策定し、地域福祉課題解決のため4つの重点施策を掲げ、3年目となる令和元年度も引き続き「地域の居場所推進事業」を核とし、以下の重点施策等を中心に福祉事業を展開した。

<地域福祉活動計画 重点施策>

1 誰もが集える居場所づくり

地域のコミュニティを維持することができるように、身近な地域で誰もが集まることができる居場所づくりを推進するため、地域の居場所推進事業(わがまち「よりどころ」プロジェクト)を実施した。また、地域での子育て支援に向けた取り組みとして、新たな子育てサロンの開設への支援を行った。

2 地域で活躍できる支えあいの人づくり

地域支え合い会議の開催や買い物支援事業の企画を提案し、住民と共に地域の困りごとを話し合う機会を設けた。また、各種ボランティアの養成講座や災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施等、地域で活躍できる支えあいの人づくりの推進を図った。

3 相談できる・つながる仕組みづくり

地域担当者が「よりどころ」や各種団体の会議への参加及びふくし出前講座の実施を通じて地域と積極的に関わり、地域住民間のつながりから得られる様々な困りごと情報を明らかにし、支えあうことへの支援及び専門機関や行政の相談へつながる仕組みづくりを進めた。

4 支えあいの心をはぐくむ環境づくり

福祉に対する理解や知識を深める「福祉実践教室」、職員が地域の集まりに出向いて行う「ふくし出前講座」、夏休みに小学生を対象とした「こどもふくし体験きゃらばん」等を開催し、子どもから大人まで幅広い世代に対し福祉に接する機会をつくり、支えあいの心をはぐくむ環境づくりを進めた。

<令和元年度 重点項目>

1 マスコットキャラクターの作成

瀬戸市社会福祉協議会の法人化50周年を機に、一般公募によりマスコットキャラクター『せとっち』を作成し、本会の事業活動の周知や啓発活動に活用した。

2 地域の居場所推進事業～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進【新規】

歩いて行くことができる身近な地域の居場所「よりどころ」に対し、看板の設置・認定と運営に関する費用の一部助成を行い、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを進めた。なお、地域住民向けの説明会を企画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、次年度に延期することとした。

3 福祉奨学金入学準備費の支給

経済的な理由により小中学校への就学が困難な児童生徒の入学援助として、福祉奨学金入学準備費の支給を行い、児童の福祉増進を図った。

4 「ふくしボランティアフェスティバル」の開催【新規】

地域住民が福祉を知り、ボランティアと接する機会として、「ボランティアフェスティバル」と「福祉のつどい」を一体とした「ふくしボランティアフェスティバル」をボランティア連絡協議会と共催で開催した。

5 地域担当制の実践強化

7地域包括支援センター単位に、地域担当職員や生活支援コーディネーターを配置し、地域にある生活課題の解決に向け、地域住民とともに地域福祉活動の推進を図った。なお、毎月地域担当連絡会を開催し、わがまち「よりどころ」プロジェクト推進のための情報共有や意見交換を行った。

6 災害ボランティアセンターの充実

災害時に備え、災害ボランティアコーディネーター養成講座及び災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。なお、立ち上げ訓練は多くのボランティアを受け入れることを想定してやすらぎ会館の立体駐車場等の屋外を利用、またあわせてニーズ調査訓練も実施した。

7 障がい福祉サービス事業等の充実

やすらぎ地域活動支援センターでは、営業日及び対象者枠の拡大等、利用者のニーズに対応できるように福祉サービスの充実を図った。

介護保険事業において、利用者が望む本人らしい生活を支援する福祉サービスの充実のために地域支え合い会議を開催し、必要となる新たなサービスを検討した。

8 瀬戸市福祉保健センター（やすらぎ会館）の運営

瀬戸市福祉保健センターの管理者として指定を受けて、瀬戸市福祉保健センターの管理業務、瀬戸市身体障害者福祉センター・瀬戸市老人福祉センター・瀬戸市プレイルーム事業を実施し、利用者のニーズに合わせた業務運営を行った。また、3月に入り新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、瀬戸市老人福祉センター・瀬戸市プレイルーム及び貸室の利用の休止や、消毒の徹底・注意喚起を行うなど、安全な管理運営に努めた。

9 地域包括ケアシステムの構築

基幹型地域包括支援センター、やすらぎ地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携し、地域包括ケアシステムの構築に向けて地域支え合い会議等を通じて地域課題の抽出、解決に向けた取り組み等を行った。

<主な事業内容>

1 社会福祉推進活動

(1) 役員会等の開催

主な議案

- ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任
- ・ 評議員選任・解任委員会の開催
- ・ 評議員選任候補者の推薦
- ・ 評議員会の開催
- ・ 社協だより作成業務委託契約の締結
- ・ 会長・副会長の選任
- ・ 顧問の選任
- ・ 福祉サービスに係る苦情解決事業に関する実施要綱の第三者委員の選任
- ・ 事業報告・決算
- ・ 社会福祉大会の顕彰
- ・ マスコットキャラクターのデザイン及び愛称の選定
- ・ 職員の給与に関する規程の一部改正
- ・ 居宅介護等事業の廃止による規程の廃止に関する規程の一部改正
- ・ 補正予算
- ・ 事業計画・予算

(2) 地区社協

ア 地区社協会長連絡会及び企画委員会の開催

主な議案

- ・ 会員募集
- ・ 敬老事業
- ・ 歳末たすけあい募金配分金
- ・ 地区社協役員研修会
- ・ 地区社協活動助成事業
- ・ 次年度配分金
- ・ 地区社協活動マニュアルの見直し

イ 地区社協役員研修会

今後の地区社協事業を考える機会として、地区社協役員を対象とした研修会を開催した。

とき	令和元年11月16日(土)
ところ	やすらぎ会館5階 大集会室
内容	「地域の課題と地区社協事業について」
アドバイザー	愛知県立大学教授 田川佳代子 氏
報告者	・よりどころ運営者 「ハッピーワン」松本幸一 氏 「フーちゃん家」福島洋子 氏 「はなみずき会」波多野啓子 氏 「さつき3の家」白濱富美江 氏 ・社会福祉協議会職員

ウ 地区社協事業

全地域推進事業(子育てサロン)及び各地区の実情に応じた事業等を実施した。なお、地域での子育て支援に向けた取り組みにより、新たに子育てサロンが1地区増加した。

区分	事業名	地区社協数 (全19地区)
主な事業	敬老事業	19地区
	歳末たすけあい配分事業	19地区
	ふれあい会食	18地区
全地域推進事業	子育てサロン	10地区
企画事業	高齢者の集いの場作り (いきいきサロン等)	8地区
	地域住民とのボッチャ大会	1地区
	健康教室	1地区
その他の事業	配食サービス	3地区
	広報紙発行	16地区

(3) 地域の居場所推進事業～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進【新規】

歩いて行くことができる身近な地域の居場所「よりどころ」に対し、看板の設置・認定と運営に関する費用の一部助成を行った。また、「よりどころ」を知りたい人、始めたい人向けに説明会を企画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とし、個別に説明対応を行った。

看板の設置・認定	40か所	
運営に関する費用助成	15か所	183,000円
開催回数及び参加者数	1,262回	延べ 12,670人

(4) 各種委員会の開催

ア ボランティアセンター運営委員会

主な議案

- ・事業報告
- ・瀬戸市福祉教育推進校、福祉実践教室説明及び体験会、児童・生徒の福祉実践教室
- ・各種講座の開催
- ・評価チェックリスト

- ・事業計画
- ・地域福祉ボランティア活動助成金の交付

イ やすらぎ連絡会

主な議案

- ・事業報告
- ・事業計画
- ・部会及び事業内容(福祉夏まつり、福祉クリスマス会、福祉お楽しみ交流会)の実施

(5) 啓発宣伝活動

ア 関係機関・団体と連携を図るとともに、報道機関に記事を提供し、福祉活動の広報に努めた。

イ 法人化50周年記念瀬戸市社会福祉大会

とき	令和元年10月26日(土)		
ところ	やすらぎ会館5階 大集会室		
内容	市長感謝	3団体	19人
	社協会長表彰	2団体	6人
	社協会長感謝	3団体	75人
	赤い羽根作品		14人
	マスコットキャラクター 最優秀作品賞(愛称の部)		5人
	マスコットキャラクター 最優秀作品賞(デザインの部)		1人
	マスコットキャラクター 優秀作品賞(愛称の部)		1人
	マスコットキャラクター 優秀作品賞(デザインの部)		1人

ウ ふくしボランティアフェスティバル【新規】

子どもから大人まで楽しみながら福祉に関する理解と関心を深めるため、ボランティア体験コーナー、障がい者団体等の協力による手作り品即売会を行った。また、わがまち「よりどころ」プロジェクトの周知の他、『せとっち』を活用した啓発活動を行った。

とき	令和元年11月30日(土)
ところ	やすらぎ会館
参加者	3,499人

エ マスコットキャラクター『せとっち』の作成【新規】

瀬戸市社会福祉協議会の法人化50周年を機に、一般公募により作成した『せとっち』を社会福祉大会において発表をするとともに、本会事業の周知、啓発活動へ積極的に活用した。

オ 本会が実施する事業の周知及び福祉に関する理解のため、広報紙「社協だより」を年4回(4、7、10、1月)発行した。なお、地域住民により関心をもってもらうため、デザイン変更やフルカラー印刷にする等リニューアルを行った。【新規】

カ きめ細かな情報の発信のため、ホームページの更新を行った。

キ ふくし出前講座の実施

町内会や地区社協、老人クラブ等各種団体の会合に出向き、わがまち「よりどころ」プロジェクトや地区社協をテーマとした講座の他、「地域福祉活動計画」の講座、健康講座、社協会員の募集等、福祉に関する様々な情報や知識について周知を図った。

(講座件数 9件)

ク やすらぎ木曜市の開催

障がい者就労施設等の利用者の就労体験や労働意欲向上及び会館利用者との交流を目的として、毎週木曜日に各施設の製品等をやすらぎ会館1階ロビーで販売する「やすらぎ木曜日」を開催した。また、福祉夏まつりや福祉クリスマス会、福祉お楽しみ交流会の開催にあわせ販売の機会を設ける等、障がい者の就労への理解を図った。

(参加施設 延べ259施設)

(6) 買い物バスツアーの実施【新規】

買い物に困っている住民や地域の課題解決に向けた支援方法を検討するため、地域の各種団体の方々と相談を重ね、老人福祉センターのバスの運行空き時間を活用して買い物支援を5回実施した。

実施日	実施地区	参加人数	行先
令和元年10月7日(月)	西陵	24名	アピタ 瀬戸店
令和元年11月11日(月)	古瀬戸	2名	
令和元年12月23日(月)	東明	10名	
令和2年1月20日(月)	山口	4名	
令和2年2月17日(月)	山口	10名	
令和2年3月16日(月)	山口	新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため中止	

(7) 子ども食堂の実施

子どもの孤食を防ぎ、学習支援をすることで、安心して子どもが過ごせる居場所づくりを目的とした子ども食堂を実施した。内容は昼食づくり、食事の提供、遊びや学習の支援を行った。

	時期	開催日及び参加者
1回目	夏休み期間	令和元年7月23日(火)、24日(水) 令和元年8月8日(木)、9日(金) (参加者：子ども37人 協力者37人)
2回目	冬休み期間	令和元年12月24日(火)、25日(水) (参加者：子ども21人 協力者25人)
3回目	春休み期間	新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため中止

(8) 各種団体との連携強化

自治会及び民生委員児童委員協議会との連携や各種団体活動への支援を行った。

2 福祉総合相談事業

福祉の総合相談窓口、よろず相談窓口として市内各所より高齢者や障がい者及びその家族から相談があり、情報提供や各種サービスの連絡調整、関係機関への紹介等を実施した。また、介護支援専門員等の福祉従事者、医療機関等の専門機関からの相談の他にも、民生委員等地域の方からの相談が多くあり、専門機関につなぐ等の連携を図り対応を行った。

相談内容については高齢者に関する相談が多く、特に認知症に関する相談が増加した。また、複合的な課題を抱える世帯に関する相談も増加した。

内容	相談件数
高齢者	11,459件
障がい者	932件
認知症に関する相談	929件
権利擁護に関する相談	771件

3 ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター機能の充実及び推進

ボランティアに関する相談・活動等に対応するため、ボランティア相談の実施、ボランティア登録の推奨など、ボランティアセンターの運営強化に努めた。また、高校生や一般市民を対象とした各種ボランティア講座、登録ボランティアの紹介及びボランティア活動の啓発、情報の提供を広報紙・ホームページ・フェイスブックで実施した。

ア ボランティアに関する状況

ボランティア登録	団体：87団体 (1,647人)	個人：13人	総数1,660人
ボランティア相談	活動依頼数191件	相談件数94件	総件数285件
ボランティアサロン	開催7回	参加人数273人	
ボランティア保険	加入総数：2,353人		

イ 講座等に関する状況

内容	対象	内容	開催日数	参加者数
講座	市民及び 登録ボランティア	・災害ボランティア コーディネーター養成講座	1日	34人
		・災害ボランティアセンター 立ち上げ訓練	1日	58人
	教職員 (小・中・高等学校)	・福祉実践教室説明 及び体験会	1日	14人
	市民	・福祉実践教室サポーター 養成講座【新規】	(中止)	0人
	小学生 (4年生～6年生)	・こどもふくし体験 きやらばん	2日	延べ22人
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「社協だより」…年4回掲載 ・ホームページ、フェイスブックの活用…随時更新 ・「広報せと」…ボランティア講座等の開催のお知らせ掲載 ・「ボランティアだより」…年4回発行(6、9、12、3月) 			
運営委員会	開催回数 3回			

ウ 福祉実践教室開催状況

福祉実践教室：通年 参加者数：2,779人													
＜科目別実施回数(専門学校を含む)＞ (単位：回)													
	科目												
	車いす	手話	要約筆記	点字	視覚障がい者ガイド	知的障がい者理解	音声訳	介護体験	高齢者疑似体験	盲導犬	講演	認知症サポーター	合計
小学校	13	16	0	19	3	0	0	1	0	3	0	0	55
中学校	2	2	1	1	2	1	1	1	2	1	0	0	14
高校等	0	2	1	1	1	1	0	0	4	1	0	2	13
合計	15	20	2	21	6	2	1	2	6	5	0	2	82

(2) ボランティア活動への支援

瀬戸市ボランティア連絡協議会をはじめ21団体の登録ボランティアを対象に、地域福祉ボランティア活動助成金を交付し、活動の支援を行った。

区分	件数	金額
通常の活動費	13件	554,237円
活動に必要な資機材の購入、買い替え等	7件	222,019円
ボランティア連絡協議会の運営に係る費用等	1件	200,000円
合計	21件	976,256円

4 心配ごと・法律相談所の運営

心配ごと相談は、毎週木曜日の午後1時から面接相談を実施した。法律相談は、毎月第1・3木曜日の午後1時から、第2・4木曜日の午前9時から弁護士による面接相談を実施した。

区分	開設回数	取扱延件数	1回当たり 取扱件数
心配ごと	50回	58件	1.1件
法律	43回	271件	6.3件

5 援護活動事業

(1) 歳末たすけあい援護事業の実施

ア 歳末たすけあい募金配分金関係

介護保険要介護4・5の方、身体障害者手帳1・2級の方、療育手帳A判定の方、精神保健福祉手帳1・2級の方及び母子父子家庭等の18歳未満の子を対象に、介護用品券・福祉タクシー券・図書カード・シルバー人材センターサービス提供券を支給した。

内容	支給件数	支給金額
歳末たすけあい募金配分事業	1,677件	3,354,000円

イ 各地区社協において、介護用品の支給、ふれあい会食、おせち料理の配食、クリスマス会、慰問等の地域福祉事業を実施した。

ウ 障がい者施設及び瀬戸市母子福祉会への助成を実施した。

対象	助成金額
障がい者施設(19施設)	231,500円
瀬戸市母子福祉会	75,000円

(2) 資金貸付事業

ア 生活福祉資金貸付事業

他の資金の借入れが困難な低所得者世帯、障がい者や高齢者のいる世帯に対して、相談支援及び必要な資金の貸付を実施した。なお、令和2年3月25日から新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した休業者等に対する緊急小口資金特例貸付を実施した。

内容	貸付件数	貸付金額
緊急小口資金特例貸付	13件	2,300,000円
	※令和2年3月25日から31日までの7日間の実績	

イ 法外援護

社会福祉協議会の自主財源を原資に、2万円を上限に小口融資の貸付を行った。

内容	貸付件数	貸付金額
小口融資資金貸付	15件	270,000円

6 各種福祉活動

- (1) 児童青少年福祉活動
- (2) 母子・父子福祉活動
- (3) 老人福祉活動
- (4) 障がい者福祉活動

区分	事業内容
児童青少年福祉	1 福祉教育推進校の指定 6校 小学校 掛川、西陵 中学校 光陵、品野 高等学校等 聖霊、瀬戸北
老人福祉	1 敬老行事に対する事業費助成 75歳以上20,818人
障がい者福祉	1 福祉クリスマス会 令和元年12月14日(土) 参加者 209人(障がい児とその家族 99人、ボランティア関係者 110人)
社会福祉一般	1 広報活動の充実強化(社協だより、ホームページ等) 2 社会を明るくする運動への協力 3 車いすの貸出 443台 4 ゆうあい号(車いすスロープ付軽自動車)の貸出109件

7 福祉奨学金支給事業

(1) 福祉奨学金の支給

低所得世帯の生徒が高等学校及びこれに準ずる専門学校へ通学する場合に必要な学資の一部として奨学金を支給した。

(2) 福祉奨学金入学準備費の支給

新小学1年生及び新中学1年生の入学援助のため、瀬戸市から就学援助費新入学児童生徒学用品費を受給する方を対象に、福祉奨学金入学準備費を支給した。

内容	対象者	支給額
福祉奨学金	7人	70,000円 (10,000円/1人)
福祉奨学金入学準備費	187人	3,740,000円 (20,000円/1人)

8 おもちゃ図書館「クレヨン」の運営及び活動

障がいのある子ども達や小学生以下の子ども達が、おもちゃを通して親子で楽しく遊びながら成長できるように支援した。また、昨年に引き続き、おもちゃの良さを幅広く知ってもらう機会として、「移動おもちゃ図書館」を実施した。

運営主体であるボランティアの資質向上のため、研修会等への参加の機会を設けた。

内容	利用者数	日数	おもちゃ貸出数
おもちゃ図書館「クレヨン」	1,232人	127日	86個 (障がい児関係者及び子育て関係団体)

内容	施設種別	利用者数
移動おもちゃ図書館(1施設)	地域活動支援センター	11人

9 受託運営事業

(1) 訪問調査事業

瀬戸市から委託を受けて、要介護認定調査対象者に対して介護支援専門員が訪問調査等を行った。

内容	件数
介護保険訪問調査	3, 074件

(2) 瀬戸市福祉保健センター(やすらぎ会館)の管理・経営

ア 福祉保健センターの施設管理

指定管理者制度により、福祉保健センター(やすらぎ会館)の指定を受けて、管理・経営を実施し、サービス向上に努めた。

階	施設名	件数	人数
1階	第1作業室	325件	3,358人
	第2作業室	133件	1,488人
	日常生活訓練室	112件	1,200人
2階	プレイルーム	267件	18,161人
	視聴覚室	363件	6,957人
	201会議室	323件	4,495人
	ボランティア室	240件	2,584人
	相談室	134件	658人
3階	教養娯楽室	267件	9,964人
	和集会室	201件	8,650人
	相談室	195件	1,731人
4階	健診室	207件	5,072人
	401会議室	67件	947人
5階	大集会室	443件	20,332人
	看護指導室	134件	1,636人
	リハビリ指導室	188件	2,159人
	501集会室	159件	2,444人
	栄養実習室	120件	2,468人
合計		3,878件	94,304人

イ 身体障害者福祉センターの運営

障がい者に対し、社会参加のために必要な教養講座等を行うとともに、相談に対し助言・指導を行う等、各種サービスの提供を行った。また、福祉夏まつり及び福祉お楽しみ交流会を開催した。

内容	参加者数	開催日
福祉夏まつり	1,676人	令和元年8月2日(金)
福祉お楽しみ交流会	590人	令和2年2月21日(金)、22(土)

ウ 老人福祉センターの運営

60歳以上の方等を対象に、ニーズに合わせた教養講座等のサービス提供に努めた。また、センター利用者に対して毎週月・火・木曜日に、老人クラブに対して毎週水・金曜日に送迎バスを運行し、利用の便宜を図った。

(ア) 各種教室の状況

区分	参加者			開催日数
	高齢者	障がい者	延人数	
陶芸教室	10人	0人	60人	6日
体操教室	19人	1人	120人	6日
編み物教室	8人	1人	72人	8日
書道教室	7人	1人	48人	6日
パソコン教室	18人	2人	120人	12日
絵手紙教室	7人	1人	32人	4日
スマートフォン教室	17人	0人	36人	2日
健康麻雀教室【新規】	11人	0人	66人	6日
折り紙教室		5人	24人	4日
料理教室		12人	42人	4日
合計	97人	23人	620人	58日

(イ) 団体別利用状況

老人クラブ	教室	サークル	その他の団体	合計
1,679人	578人	471人	1,520人	4,248人

(ウ) 設備・事業別利用状況

ヘルストロン	入浴	囲碁・将棋	相談	合計
12,106人	8,359人	9,964人	6人	30,435人

(エ) 送迎バス利用状況

区分	利用日	利用人数
個人利用者	月・火・木曜日	1,167人
老人クラブ	水・金曜日	1,301人
その他の団体		191人
合計		2,659人

エ プレイルームの運営

月曜日から金曜日までを「育児サロン」として位置づけ、親子を見守り、友達づくりの支援や育児相談に応じた。また、年間を通じて、子育て中の保護者が交流しながら学びあう講座を企画し、子育て支援に努めた。

小学生に対しては、個性や感性を伸ばし健全な育成を目的とした教室等を実施した。

区分		回数	人数
講座・教室等	育児講座	51回	3,020人
	親子お楽しみ会	2回	76人
	小学生教室	8回	146人
	小計	61回	3,242人
プレイルーム	育児サロン	222回	15,920人
	一般利用者数	45回	2,241人
	小計	267回	18,161人
合計		328回	21,403人

(3) 地域包括支援センター事業の実施

ア やすらぎ地域包括支援センターの運営

瀬戸市が設置する地域包括支援センターの1つとして、陶原・長根地区に住む高齢者を対象に、自宅訪問や介護予防教室等を行った。また、認知症初期集中支援チームで、認知症の方と家族に対する包括的かつ集中的な支援を行った。

	事業実施内容	実績
やすらぎ地域包括支援センター	介護予防(口腔)教室実施回数	3回
	地域はつらつ講座実施回数	5回
	高齢者実態把握件数	168件
	総合相談支援件数(処遇困難事例)	4件
	介護支援専門員に対する支援件数	27件
	住宅改修理由書作成件数	12件
	認知症初期集中支援延件数	5件

イ 瀬戸市基幹型地域包括支援センターの運営

市内7か所の地域包括支援センターの全体調整や支援、緊急・困難ケースへの対応、地域包括支援センター及び介護支援専門員の資質向上研修、認知症カフェの開催、医師会等の医療関係機関との連携、介護予防・日常生活支援総合事業に関する情報収集等を実施した。また、認知症地域支援推進員として認知症に関する地域からの相談対応や認知症カフェの開催や普及啓発を行った。

	事業実施内容	実績
基幹型地域包括支援センター	相談延件数	1,464件
	相談延件数のうち認知症に関する相談延件数	156件
	介護保険事業所向けに開催した研修回数	4回
	行政・地域団体等の依頼に応じて開催した講座回数	6回
	地域ケア会議の開催及び出席した回数	5回
	認知症カフェの開催回数	18回

(4) 日常生活自立支援事業の実施

愛知県社協から事業の委託を受けて、相談・援助業務を行った。

	件数
新規契約数	1件
年度末契約数	19件

対象者 内容	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合計
問い合わせ件数 (制度、事業について)	9件	4件	6件	19件
初回相談件数 (初回相談受付)	3件	2件	2件	7件
相談援助件数	223件	167件	244件	634件
合計	235件	173件	252件	660件

(5) 生活支援コーディネーター配置業務(第1層・第2層)の実施

市内全域(第1層)の生活支援コーディネーター、7地域包括支援センター圏域からモデル的に配置された3圏域(ふたば地域包括支援センター圏域・地域包括支援センターしなの圏域・地域包括支援センター中央東圏域)に第2層生活支援コーディネーターを配置した。

地域におけるボランティア等の生活支援サービスに関連する資源の把握やネットワーク構築に向けて各種研修会・会議への参加を行い、生活支援・介護予防サービスの整備に向けた情報の把握に努めた。

地域課題に対して、地域住民と共有し課題解決に向けた地域による活動、社会資源の開発等、具体的な取り組みに向け検討し実践につなげるために、地域支え合い会議【新規】を開催した。

事業内容	件数
資源の把握及び開発	132件
ネットワーク構築	132件
ニーズと取り組みのマッチング	304件
サービスの担い手の養成	22件
合計	590件

(6) 各種福祉関係団体の受託

6団体(瀬戸市遺族連合会、瀬戸市更生保護女性会、瀬戸市民生委員児童委員協議会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市母子福祉会、瀬戸市老人クラブ連合会)の事務局等の運営業務を行った。

(7) 元気高齢者サポーター養成講座業務の実施

高齢者の困りごとに対する支援や介護予防に取り組む担い手を養成するため、市内在住の65歳以上の方を対象に、瀬戸市の高齢者事業や地域でサロン活動や支えあい活動を実施している方への意見交換会を企画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。

	開催予定日	開催予定時間
1回目	令和2年3月1日(日)	9:30~12:00
2回目	令和2年3月1日(日)	13:30~16:00

10 介護保険事業

(1) 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業

せと地域福祉サービスセンター(居宅介護支援事業所)を運営し、要介護認定者にケアプランを作成した。

内容	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	29人	29人	17人	6人	7人	88人
作成延件数	369件	286件	262件	97件	92件	1,106件

(2) 介護予防支援、第1号介護予防支援(地域包括支援センター)事業

やすらぎ地域包括支援センターの事業として、陶原・長根地区の要支援認定者及び事業対象者に介護予防ケアプランを作成した。

区分	事業対象者	要支援1	要支援2	合計
利用者数	31人	48人	75人	154人
作成延件数	264件	604件	882件	1,750件

11 障害者総合支援事業

地域生活支援(地域活動支援センター)事業

創作的活動、社会適応訓練、レクリエーション及び送迎等のサービスを行った。また、多くのボランティアの協力を得ながら、一人ひとりの適性に合わせた活動支援を行った。

区分		人数	開催日数
利用登録者		30人	271日
参加延人数	利用者	1,771人	
	ボランティア	756人	

12 その他

(1) 瀬戸市共同募金委員会への支援

ア 共同募金運動(赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金)の実施

内容	募金実績額
一般募金	12,210,435円
歳末たすけあい募金	6,877,780円
合計	19,088,215円

イ 募金機能付き自動販売機の普及啓発

内容	延設置台数
募金機能付き自動販売機	15台

(2) 日赤瀬戸市地区への支援

ア 活動資金の募集

内容	募集実績額
一般社資	7,806,572円
法人社資	660,340円
合計	8,466,912円

イ 災害見舞金及び物資の支給

支給件数	災害見舞金	物資
5件	42,000円	毛布1枚、タオルケット10枚、緊急セット3セット

ウ 災害義援金等の受付

被災者支援の一助とするため、やすらぎ会館等に募金箱を設置して災害義援金を募り、また窓口にて受付を行った。